

令和3年12月8日作成
 令和3年12月11日更新
 令和3年12月16日更新

調布市西部公民館の環境への取組

1 「ペットボトル廃棄量削減」への取組

(1) きっかけは令和元年度から実施している環境講座

- ① 西部公民館内でペットボトルに対する問題意識の高揚
- ② 令和3年度の環境目標について検討
- ③ 令和3年度の環境目標を「ペットボトル廃棄量の削減」に設定

その取組内容は、以下のとおり。

- ア 自動販売機からペットボトルを撤去
 - ・環境政策課作成の「海洋プラスチックごみ問題を知っていますか？」を自動販売機横に掲示して利用者へ周知
- イ 職員、利用者にマイボトルの使用を推奨
 - ・西部公民館利用団体連絡会において主旨を説明
- ウ 講師へのペットボトル飲料の提供を廃止
- エ 会議へのペットボトル飲料の提供を廃止
- オ 委託業者にペットボトル廃棄量削減へ協力依頼



【効果】

- ・西部公民館におけるペットボトルの廃棄量が減少

【基準】令和3年3月（16本／月）

令和3年度第一四半期 4本（1.3本／月）

令和3年度第二四半期 10本（3.3本／月）



(現状の課題)

- ・自動販売機を扱う業者が缶の水やお茶を扱っていません。マイボトルを忘れた利用者が水やお茶を希望することがあります。
 - ・利用者には取組みの主旨を説明し、周辺の自動販売機を紹介しています。ただし、高齢者や雨の日に敷地の外まで行っていただかなければなりません。
 - ・水やお茶のボトル缶を置くよう社会福祉協議会と協議しています。
- ※ 予算化を伴いますが、公民館は一時収容可能施設でもありますので、冷水器の導入も検討したいです。

2 花いっぱい活動

(1) きっかけは職員が昼休みにボランティアで始めた除草・植栽

- ① 職員が挿し木した紫陽花や株分けしたアガパンサスなどを持参。
- ② 利用者から植えてほしいと花が提供されるようになる。
- ③ 利用者から手伝いの申出がされるようになる。
- ④ 試行として公民館だよりで除草のお手伝いの希望者を募る。(6人申出, 雨で中止)
- ⑤ 地域文化祭前に利用者と職員が協力して除草を行う。(利用者3人)
- ⑥ 花への関心が高まってきたことからガーデニング講座を実施。
・参加者が公民館の空きスペースを利用して花を植える活動を継続したいと希望しましたので、今後の活動について話し合いを行っています。ガーデニングを楽しみながら環境に配慮した持続可能な活動につなげたいです。



【効果】

- ア 地域住民から自宅にある花の提供を受けるようになった。
- イ 利用者の会話が西部公民館の花のことで盛り上がる。
- ウ 自分も関わりたいと申し出が増え、利用者の輪が広がった。

(現状の課題)

- ・当初の予算にない活動であり、ボランティア活動によるところが大きい。
- ・個々の花壇に対する思いがあり、調整が必要である。
- ・公民館を居心地の良い場所にするを目指して公民館と協働するグループ活動にしていく。

西部公民館だより令和3年6月号

公民館にもっとお花を♪

いつかほ

《西部 花いっぱい活動》始動

公民館の緑地エリアにお花が咲いたらステキなのに…
という職員の思いから、少しずつ花の種や苗を植え始めました。
まずは雑草を取り除くところから。昼休みを利用して、
ひまわり、アジサイ、アバガネサスなどを植えています。




私たちと一緒に活動して下さる
お花好きの方大募集中。
職員までお声がけください!

西部公民館公民館だより令和3年10月号


西部公民館だより 10月号No454.pdf - Adobe Acrobat Reader DC

公民館にもっとお花を

西部花いっぱい活動 通信



紫陽花、向日葵、秋桜などの花、お気づき
でしたか？ 花の寄付や植え付け、笹の伐根に
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。ことごとく
そっぽを向いて咲いた向日葵ですが、種はたくさん採
れました。来年また植えますよ。西部の開拓は始まったば
かり。一緒にデザインを考えたり、植
え付け作業をしてみませんか？
ぜひ職員に声をおかけください。



**ひまわりも
我が子も育ち 顔背け**

【10月の草むしり】22日(金) 午前 11:00 ~ (雨天中止)
ご参加の方は電話連絡をお願いします。

(2) 除草方法の模索

従来は除草を委託しています。しかし、雑草の大部分は笹であり、地表部分を刈り取るだけではすぐにまた伸びてしまいます。芝刈機では笹を刈ることはできませんでした。スコップによる伐根も試みましたが、重労働のため継続が難しく、除草剤や塩などによる除草は環境や周辺への配慮から使用しない除草方法を模索しているところです。現在は、高温水除草を試行しています。

3 講座と連動した活動

調布市西部公民館は、従来より環境講座に取り組んできました。環境の問題は、地域住民一人ひとりがよりよい未来を築くために考えなければならない生活課題です。

調布市と調布市議会が、令和3年4月16日に「調布市ゼロカーボンシティ宣言」をしたことを受け、より一層、環境学習の推進を図っていきます。

近年開催した講座等は以下のとおりです。

令和3年度

1 環境講座（全3回）「いま、植物のチカラで心豊かに」

① 学んで楽しもう 植物との長いおつきあい

都立神代植物公園植物多様性センター職員

② 目が見えなくてもできる生け花の魅力

愛沢 法子氏（生け花講師）

③ 自然との共生 中国雲南省の旅から見たもの

伊佐 九三四郎氏（旅作家）

6月3日（木）10日（木）17日（木）午前10時～正午

2 親子自然観察会「野川公園で夏の自然観察」

自然観察園見学, 自然観察センター展示見学, バッタランドで虫とり体験

山田 陽子氏(パークレンジャー)

8月11日（水）午前9時30分～11時30分

※ 新型コロナウイルス対策のため中止

3 体験教室Ⅱ「秋から始めるガーデニング講座」

① ガーデニングの基本と土づくり実践

② 花の植え付けと寄せ植えづくり

こばやし あずさ氏(日本園芸協会庭園デザイナー, フラワーデザイン講師)

10月23日（土）, 30日（土）午後1時30分～3時30分

※ ガーデニング活動の継続を希望する参加者がグループ化に向けて話し合っている。ガーデニングを楽しみながら、植物に親しみ、植物の特性や花壇の維持管理について学習し、自然環境などにも目を向けてサステナブル（持続可能）な活動を目指し、公民館という場所での活動として自分の楽しみだけに終わることなく、地域住民に喜んでもらえる花壇づくりをテーマにする方向である。

令和2年度

- 1 環境講座「自然との共生～日本庭園の魅力」
 - ① 日本庭園の歴史と植栽
 - ② 多摩地域の自然が生み出した日本庭園宮内 泰之氏（恵泉女学園大学准教授）
9月30日（水）10月7日（水）午後2時～4時
- 2 子ども体験教室「ペットボトルでエコアートを楽しもう」
金原 京子氏（造形作家）
12月19日（土）午後2時～4時
- 3 ロビー展示「ペットボトルでエコアートを楽しもう 作品展示」
令和2年12月19日開催の体験教室参加者の作品と講師金原京子氏の作品を展示
12月20日（日）～1月17日（日）

令和元年度

- 1 高齢者学級チャレンジクラブ未来 共催講座「海に漂う見えないゴミ マイクロプラスチックを知っていますか」
高田 秀重氏（東京農工大学教授）
共催／ちょうふ環境市民会議
5月30日（木）午前10時～正午
- 2 高齢者学級チャレンジクラブ未来「マイクロプラスチックによる環境汚染と対策」
会員による講義と話し合い
6月6日（木）午前10時から正午
- 3 成人学級ココラク公開講座「子どもたちの未来は大丈夫？今、環境について考えよう」
桃井 貴子氏（NGO、NPO法人気候ネットワーク東京事務所代表）
6月20日（木）午前10時～12時
- 4 親子自然観察会「夏休み親子自然観察会」
自然を守るマナーを学びつつ、丹沢の雄大な自然を体感する観察会
小学生とその保護者対象
7月24日（水）午前8時30分～午後5時30分
- 5 環境講座「地球温暖化と私たちの未来～脱炭素社会へ向けて今できること」
江守 正多氏（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）
1月18日（土）午前10時～正午